

救 助

救助は、火災、交通事故、水難事故などの災害現場で要救助者（＝助けを求めている人）を救助することが任務です。近年の災害は「多様化・大規模化」しており、それらの災害に対応するためには、特殊な資器材を使用した高度な技術や長時間にわたる活動に耐えうる強靱な体力が必要となります。そのため、備北消防では選抜された隊員で構成された部隊（特別救助隊）が三次消防署へ配置されています。管轄地域はもちろんですが、応援要請があった場合、管轄地域外で発生した大規模災害へ出動することもあります。



救助隊 佐々木



私は、中学生の頃に消防士に憧れて、高校卒業後、消防士となりました。現在は特別救助隊の一員として勤務しており、火災、交通事故、水難事故などあらゆる災害に出動しています。

災害現場は二次災害の危険性も高いうえ、長時間の活動となることがあります。また、消防はチームで活動するため、隊員同士の連携や隊員同士で共通認識を持つことが大切となります。そのため、日々訓練や研修を重ねるとともに、隊員同士で積極的にコミュニケーションを取るように心がけています。「人命」に関わる仕事ではありますが、災害現場の最前線で活動することに誇りを持ち、これからもプロとして住民の皆様の「安心・安全」を守っていきます。

救助隊 和田



特別救助隊として、火災、交通事故、水難事故などあらゆる災害現場において最前線で活動をしています。多様化、大規模化する災害に対応するため、日々訓練や研修を重ねるとともに、隊員同士のコミュニケーションを大切にして仕事に励んでいます。

消防は危険な現場が多く、人命に関わる仕事で、簡単なことではありません。しかし、信頼できる上司、仲間と団結し、災害現場の最前線で活動することはとてもやりがいを感じることができます。